

## 授業内容 (2019年度)

授業科目名	授業担当者 氏 名	区分	単位	年間授業 時 間	受講 学年	開講年次
重奏研究  I II	銅 銀 久 弥 田 部 京 子 岡 田 博 美 石 島 正 博 川久保 賜 紀  他	必修	4	(シラバス参照)	1 / 2	毎年

### ■授業内容・形態等

#### 《学修目標》

バロックから現代に至る重奏作品をテキストとする「演奏の様式性の獲得」および「アンサンブル技術の獲得」について、「指導教員との共演」を含む高度な演奏表現の修得を目的とする。

1. 「重奏研究」の研究領域別区分を以下のとおり定める。年度当初の研究計画をもとに、合せて4単位を修得すること。また、学生の専攻の分布が各種ペアの組み立てに関係すること等の理由により、これを満たすことが不可能な場合は、柔軟に取り扱うことも可とする。

#### ☆ピアノ専攻生

- ・ 弦楽器専攻生とのペアによる「二重奏レパートリー研究」、弦楽器専攻生あるいはオーケストラ・アカデミー生とのグループによる「室内楽レパートリー研究」のレッスンを受講 …………… 1単位／8時間
- ・ 室内楽作品創作研究 …………… 1単位／8時間
- ・ ピアノ二重奏レパートリー研究 …………… 1単位／8時間
- ・ 「重奏研究コンサート」又は、「研究科委員会により認められたキャンパス内におけるコンサート」に出演／出品 …………… 1単位／1公演

#### ☆弦楽器専攻生

- ・ ピアノ専攻生とのペアによる「二重奏レパートリー研究」、ピアノ専攻生または弦楽器専攻生あるいはオーケストラ・アカデミー生とのグループによる「室内楽レパートリー研究」のレッスンを受講 …………… 1単位／8時間
- ・ 室内楽作品創作研究 …………… 1単位／8時間

- ・ 「重奏研究コンサート」又は、「研究科委員会により認められた  
キャンパス内におけるコンサート」に出演／出品 …………… 1単位／1公演
  - ・ 「オーケストラ演習」(アカデミー・オーケストラ演奏会に出演)… 1単位／1公演
2. 各レパートリー研究の学生による「ペア」あるいは「グループ」の編成については、入学後のオリエンテーション時に決定する。決定に際しては、学生個々の意向や研究計画をもとに、その意思を尊重しつつ、各学生の専攻実技担当教員の指導のもとに調整を行う。
  3. 「ペア」あるいは「グループ」は、それぞれの研究領域に定められた複数の教員の指導により、それぞれの「ペア」「グループ」の研究計画に沿って研究を行う。指導教員の編成については、学生個々の意向や研究計画の尊重を前提に、本学実技系教員の協議と調整により決定するものとする。指導教員決定後は、「ペア」あるいは「グループ」と、その指導教員とが綿密な連絡を保ちつつ、所定の履修計画に沿って研究・指導を行うものとする。
  4. 特に理由のある場合には、関係者（当該学生および教員）で協議の上、「学生ペア」あるいは「学生グループ」の変更を認めることもあり得るものとする。その際は、その旨を速やかに研究科長あてに書面により提出するものとする。
  5. 室内楽作品創作研究については、学生個々の意向や研究計画を尊重し、担当教員と協議、調整した上で研究を行う。
  6. 重奏研究コンサートへの出演あるいは出品については、編成等について問題なく、且つ担当教員の承認を得ることを前提とする。
  7. オーケストラ演習（オーケストラ・アカデミーの授業）の参加にあたっては、年間行事予定表に記載された「定期演奏会」または「特別演奏会」に所定のエントリー方法（掲示）に従って登録を行うこと。
  8. 各研究領域区分で定められた時間数等を超えて研究を行うことは可能であるが、修得できる単位数は4単位（必修）までとなる。
  9. 成績は出席状況、受講態度および授業内での研究成果の発表等で評価する。  
評価は「合格」又は「不合格」の表記とする。